

【学校協議会資料】

平成29年度 堺東高等学校 第3回 学校協議会 ご提言・ご意見のまとめ

平成29年度 堺東高等学校第3回学校協議会が、2月22日に開催されました。第3回の協議事項は、「学校経営計画における今年度の取り組みの結果報告」、「各分掌、学年、委員会より今年度の取り組みについての結果報告」「学校教育自己診断アンケート結果について」の3点です。当日、各委員のご提言、ご意見の概略を以下のようにまとめました。

協議会委員

- 1 津田 謹輔 (帝塚山学院大学 学長)
- 2 二橋るみ子 (堺市立晴美台中学校 校長)
- 3 重谷 崇夫 (社会福祉法人白水福社会 三原台認定こども園 園長)
- 4 森 繁樹 (本校同窓会長)
- 5 廣岡 洋子 (本校PTA会長)
- 6 今井 貴文 ((株)ベネッセコーポレーション)

事務局

校長 教頭 事務長 首席 企画委員

【次第】

- 1 校長挨拶
- 2 今年度の学校協議会委員及び事務局員の自己紹介
- 3 学校経営計画における今年度の取り組みの結果報告について (校長)
- 4 各分掌、学年、委員会より今年度の取り組みの結果報告について (各部代表)
- 5 学校教育自己診断アンケートについて
- 6 その他、今後の日程

第3回テーマ

「学校経営計画における今年度の取り組みの結果報告」

「各分掌、学年、委員会より今年度の取り組みの結果報告」

「学校教育自己診断アンケート結果について」

■校長より

本日の協議に入る前に、校長より挨拶に続いて堺東高校の近況報告がありました。

- 3月1日に卒業式を予定しております。1,2年次生は、後期期末考査の3日目で一般選抜をはさんで3月19日に終業式を予定しています。2月20日に自立支援選抜が行われ、28日に合格発表があります。一般選抜は、3月12日に行われ、20日には合格発表があります。ご指摘いただいているように本校で学びたいという生徒が一人でも多く受験してくれることを願っています。今年度から、インフルエンザ等の感染症により欠席した生徒対象の追検査も新たに導入されます。

■学校経営計画における今年度の取り組みの結果報告について質疑

応答

□説明 ・ ■意見・質問

◇「学校経営計画における今年度の取り組みの結果報告」について校長より説明

【 1、確かな学力の育成 】

- 授業の充実が一番であると考えています。研究授業を前年より早めて12月に実施した。授業アンケートでは目標に少し届きませんでした。「プレゼンテーション能力」については、身につけてきていると感じている生徒が80%ほどいましたが、「自ら学ぶ」ことについては学年ごとにずいぶん違った結果が出ています。今年の3年生は、センター試験に昨年の135名より減少したものの109名が受験し、一般入試を受ける生徒も増えています。また、1月に全職員による校内研究授業を行い、活発な議論ができました。

【 2、安全で安心な学校づくり 】

- 人権教育の推進が大切であると考えています。堺支援学校との交流では、訪問と招待の2回を実施し、学び多き行事であります。障がいがある生徒に対する合理的配慮についても職員間で議論し、取り組んできました。職員研修を行いました。肯定率は横ばいでした。規範意識の醸成では、多くの生徒がまじめに守っていると答えています。交通事故の再現体験（スケアードストレート）を実施し、スタントマンによるリアルな再現で1年生に交通ルールを守ることの大切さを浸透しました。

【 3、夢にチャレンジする積極的な生徒の育成 】

- 産業社会と人間や総合的な学習の時間を使ってのキャリア教育に力を入れてきました。また、チャレンジする生徒を育成するため、概ね8割の生徒が部活動に参加している。男子ハンド、女子バスケットなど着実に成果が出ているクラブがある。堺大魚夜市や南区みどりの集いなどのべ100名を超える生徒が参加し、外部との交流に力を入れています。

【 4、開かれた学校づくりの推進と情報の発信 】

- 学校のホームページには、80000件ほどのアクセスがあり、若干昨年を下回った。月1回のミニ見学会は9回実施し、昨年を上回る参加人数であった。総務部の企画でオープンスクールを実施し、2回で1000名超が参加し、クラブ体験も行いました。

- 研究授業のやり方は？
 - 一日5時間の中で公募し、各時間帯に数名ずつが公開してくれました。
- 研究協議のやり方は？
 - 放課後に全教員が集い、見学した授業者の輪に入り、感想や気づきを述べ合うなど、有意義なものであった。
- サポート校事業とは？
 - 依頼のあった学校にサポート室教員が出向きケース会議に参加したり、本校に相談に来られたり、成績や支援の仕方の具体について話することも多いと聞きます。
- 小中学校とのサポートの交流は？
 - 堺市主催教員研修に講師として参加したりしました。

■各分掌・委員長からの説明に対するの質疑応答

説明・■意見・質問

【 3学年より 】

- 今の時期は3月1日の卒業式に向けて準備中です。遅刻者や受験前の欠席者が昨年に比べ増加しています。受験勉強のスタートの遅れからくる焦りも影響しているようです。
- 自立支援生3名は人権文化発表会や共に生きる障がい者展などで外部に活動紹介を発表するなど、著しい成長ぶりを見せました。
- 行事前の実行委員の立ち上げは例年以上に遅れましたが、行事自体は無事に終了し、満足度も例年並みのまですまの高さでした。
- 科目選択についての満足度は昨年より10%ほど下がりました。

【 2学年より 】

- 生徒アンケートでは、「学校が楽しい」が65%、「行事が楽しい」が文化祭67%、体育祭69%といずれも昨年よりダウンしました。
- 「授業が難しい」が69%とアップしました。「友人を作るのが不得手」が53%に及んでいます。「修学旅行」は肯定率が83%とダウンしました。
- 一方、「授業に工夫している教員がいる」は90%、「進路指導や入試情報の提供」は90%と共に高い満足度でした。

- まじめで学校への満足度は高い反面、行事などでの生徒同士の人間関係作りやコミュニケーション不足が課題です。

【 1 学年より 】

- 1 年生は「メリハリのある充実した学校生活を送り、自立する力を身につける」を合言葉に、①基礎から学力を伸ばす②行事や活動に主体的に参加する③部活動に積極的に参加することを目標に取り組んでいます。
- 学年団の目標は、お互いに声を掛け合い、情報を共有することを主眼に置き、個々への指導を手厚くすることを心掛けてきました。
- 一部のクラスでは騒々しく雰囲気が悪くなった時期もありましたが、粘り強く指導し落ち着いてきました。
- アンケート結果では、学校生活が楽しいと答えた生徒が増え、遠足も肯定的でした。運動クラブに入っている生徒は多かったので引退まで支えていきたいです。探求や科目選択も肯定的でした。
- 「ひとりでの勉強の仕方がわからない」「悩みを家で相談しない」生徒が増えてきており、個別面談や保護者との連携が重要であると考えています。基礎学力を見つけるためには、「具体的に何をどうするのか」を示していきたい。

■ 保護者アンケートの回収率は？。

- 全員とはいかないが、55%で過半数は超えています。

【 総務部より 】

- 新入生を対象にオープンスクールへの参加経験を聞いたところ、7月に29%、11月に30%で、一定の効果が期待できることがわかりました。
- PTA活動は活発で、まもなく広報紙の卒業特集号ができあがります。
- これから卒業式・入学者説明会・スプリングコンサートなど行います。
- 総務部内に広報チームを立ち上げ、旗や腕章を製作しました。
- 学校協議委員やPTA・地域の皆様からの声の強かった制服の見直しのための委員会も立ち上がり、制服の改定に向けて準備を進めています。

【 教務部より 】

- 科目選択の日程調整は例年の課題で、早くから検討しています。
- 教育課程について、一部の見直しを行いました。
- 科目選択の生徒指導や教員の意識の向上は、進路指導との連携が重要です。
- 成績処理についてのミスが例年数件ありますが、より迅速かつ適正に対応できるよう努めたい。

【 進路指導部より 】

- 学力向上プランに則って学力生活実態調査（スタディーサポート）の結果を踏まえた指

導を実施しました。

- JASSO の給付型や予約奨学金の手続きの指導は、進路保障の観点から一部の経済状況の生徒の進路実現のためには欠かせないものです。生徒支援の観点では、懇談や支援に役立てることもでき、担任との情報共有が大切です。ただ、手続きの複雑さは保護者や本人の理解を超えていることが多いです。
- 大学入試センターの新テストについて、本校でもプレテストを実施し、80名が受験しました。
- eポートフォリオ（自己申告用活動記録）については、生徒自身の主体性を見る資料として、周囲の状況を見ながら進めていきたいと思えます。

【 生徒指導部より 】

- 自転車のマナーについて外部からご指摘を受けます。自転車事故も増加しているため、1年生対象にスケアードストレート（スタントマンによる事故再現）を実施し、事故の恐ろしさを共有しました。
- 遅刻は昨年より約1000件増加しました。一部の特定の生徒が繰り返しています。社会へ出ると遅刻で人物評価を受けることがあることを粘り強く伝えていきます。
- 以前に比べ、「幼い」生徒が増えています。粘り強く指導していきたいと思えます。

【 生徒会部より 】

- 生徒会の調査では、実施直後の満足度は体育祭92%、文化祭93%と高かったが、12月の調査では、ともに79%、82%とダウンしました。
- 壇上に立って挨拶するのが苦手な生徒が多く、実行委員の数が減ってきています。やればできる生徒が多く、2年生は体育祭実行委員に20名が集まってくれました。
-

【 保健部より 】

- 教室の照度検査を実施しました。一部の教室の黒板の反射が強く見にくかったため、黒いカーテンを取り付けるとともに修理を依頼・実施しました。
- 地震・火災等の災害に備えての避難訓練を年2回実施しています。J-ALERTに対応した避難訓練も今後計画が必要になると思えます。

【 人権教育委員会より 】

- 12月には堺支援学校の生徒50名が本校を訪れ、2時間の交流を実施しました。

【 自立支援委員会より 】

- 今年の3年生は2名が内定をいただき、1名が職業訓練施設に通所予定です。
- 2・3年が実習に行く機会が増えてきます。実習先を紹介いただければ助かりますのでよろしく願いいたします。
- 11月には共に生きる障がい者展、2月には人権文化発表会で3年3名が発表しました。
- 11年目を迎え、科目の一部見直し変更も行いました。

【 教育相談委員会より 】

- 昨年から教育相談室に交代で常駐するようになりました。自立支援委員会と合同で行った拡大委員会を発展させ、生徒支援委員会を立ち上げることにいたしました。
- 高校生活支援カードの活用で、スクールカウンセラーに合格者登校に来ていただきました。
- 教育相談委員会に報告のあった生徒総数は、昨年に比べ2年生が大幅に増加しました。

【 志学委員会より 】

- 希望を持って夢に挑戦する生徒を育てようと大学見学会・看護学校見学会・病院探検会・夢ナビライブの紹介をし、参加を促しました。
- 堺支援学校との交流や障がい理解講演・車いす試乗体験を実施しました。

■ 中学校へのアピールのための訪問は？ 狭山や富田林などの旧3学区の生徒へのアピールは？ 総合学科の魅力についてのアピールは？

- 3年生で進路が決まった生徒による中学校訪問を10月に20校程度実施しました。堺・和泉をはじめ、狭山・富田林方面の旧3学区も含めました。同時に、卒業生から聞き取った個人名入りの総合学科のアピールのプリントを配布し理解を促進しました。

■ 同窓会としても支援していきたい。総合学科のあり方、キャリア教育の充実など検討して堺東高校の良い面を伝えて行っていただきたい。卒業生が希望する進路へ進み、活躍する姿を伝えていきたい。行事の魅力アップも忘れずに。

■ 兵庫県のS高校総合学科では、広報専門の分掌を立ち上げている。総合学科で学べるバリエーションや授業の様子プレゼンを生徒自らが中学生や保護者に行う場面も。生徒さん自身のオープンスクールでの活躍に期待したい。「単位制高校→バランス良い」「総合学科→好きな科目中心」のイメージが全国的な印象であることは事実である。

■ 国の施策や制度により価値観が決められることが多いが、「人生が豊か・幸せになる」ための高校での学びであることを常に念頭に指導してほしい。学習するボリュームと時間・人材のバランスをしっかりと意識しながら学びを創作してほしい。

【 教頭より 】

- 学校教育自己診断アンケートの結果、分析をご覧になっておいてください。

【 校長より 】

- 本日はお忙しい中、誠にありがとうございました。今後とも堺東高校のご支援をよろしく願いいたします。来年度から「学校運営協議会」に代わります。詳しくは別紙を。

来年の日程

【第1回】	平成30年	7月23日(月)	午後3時~5時
【第2回】	平成30年	11月29日(木)	午後2時~4時
【第3回】	平成31年	2月18日(月)	午後3時~5時

を予定しています。よろしく願いいたします。